

2. 埼京線・横浜線用通勤形車両（別紙3）

（1）編成数

埼京線用（10両編成）を31編成（310両）、横浜線用（8両編成）を28編成（224両）、E233系通勤形車両を新造します。

（2）運転開始時期

埼京線は2013年度から、横浜線は2014年度から順次運転を開始します。

（3）運用区間

埼京線用

埼京線（大崎～大宮）、川越線（大宮～川越）

東京臨海高速鉄道（大崎～新木場）

横浜線用

横浜線（東神奈川～八王子）、

京浜東北・根岸線（東神奈川～大船）



埼京線用 E233 系

（4）車両の特長

- ・ 定員が従来の205系と比較して約1割増加し、混雑が緩和されます。
- ・ 当社で初めて車内照明をオールLED化します。従来の蛍光灯の約6割の消費電力量とすることが可能です。
- ・ 205系と比較して約7割の消費電力量で走行できます。



横浜線用 E233 系

E233系は、2006年度の中央快速線を皮切りに、京浜東北線、常磐線各駅停車、京葉線、東海道線に投入している首都圏の通勤・近郊形車両です。

「故障に強い車両」「人にやさしい車両」「情報案内や車両性能を向上した車両」をキーワードとし、主要機器の二重系化、ユニバーサルデザインを考慮したインテリア、快適性向上のための座席幅拡大等を行っている他、車内外の情報案内装置を充実させています。